

人類生態学教室教室年報

2003-2004

Biennial Report of Activities on Department of Human Ecology

March, 2005

東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻
人類生態学教室

Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次 Contents

教育活動 (Educational Activities)	1
学部	Lectures and Exercises/Practices for Undergraduate Students
大学院	Lectures and Exercises/Practices for Graduate Students
卒業論文	Graduation Theses
修士論文	Master's Theses
博士論文	Doctoral Dissertations
研究業績 (Research Activities)	11
原著論文	Original Articles
単行本	Books and Contributions to Book
総説・資料・他	Reviews and Other Reports
学会発表	Presentations in Scientific Meetings
国際的な活動 (International Activities)	23
国際研究プロジェクト	International Research Projects
人類生態学研究会 (Meetings on Human Ecology)	25
教室員一覧 (Staff, Students and Visiting Researchers)	26

教育活動 Educational Activities

学部 Lectures and Exercises/Practices for Undergraduate Students

講義

解剖学（必修 - 2年後期 ・ : 2単位）

2003年10月 - 2004年1月 担当：坂井建雄（順天堂大学医学部）

火曜日：10:40-12:10

平成 15 年

10月21日	人体はどのようなものか
10月28日	消化器
11月4日	呼吸器
11月11日	泌尿器
11月18日	生殖器
11月25日	駒場祭のため休講
12月2日	循環系
12月9日	神経系
12月15日	補講日 10:40-12:10 骨格と筋
12月16日	上肢

平成 16 年

1月6日	下肢
1月13日	頭部
1月20日	個体発生と系統発生
1月27日	人体を作る素材

2004年10月 - 2005年1月 担当：坂井建雄（順天堂大学医学部）

平成 16 年

10月19日	人体はどのようなものか
10月26日	消化器
11月2日	呼吸器
11月9日	泌尿器
11月16日	生殖器
11月30日	循環系
12月7日	神経系
12月13日	補講日 10:40-12:10 骨格と筋
12月14日	上肢
12月21日	下肢

平成 17 年

1月11日	頭部
1月18日	個体発生と系統発生
1月25日	人体を作る素材

生理学（必修 - 2年後期　：2単位）

2003年12月 - 2004年1月　　担当： 佐々木　誠一（茨城県立医療大学）

月曜日：13:00-16:10

平成 15 年

12月8日	生理学の基礎、呼吸
12月15日	血液と循環
12月22日	消化と吸収、腎臓の機能

平成 16 年

1月19日	補講日 9:00-12:10　　内分泌、生殖
	13:00-16:10　　神経、シナプスと筋
1月26日	感覚、神経系

2004年12月 - 2005年1月　　担当： 佐々木　誠一（茨城県立医療大学）

平成 16 年

12月6日	生理学の基礎、呼吸
12月13日	血液と循環
12月20日	消化と吸収、腎臓の機能

平成 17 年

1月17日	内分泌、生殖
1月24日	神経、シナプスと筋
1月31日	感覚、神経系

薬理・毒性学（必修 - 3年前期　：2単位）

2003年4月 - 2003年5月

火曜日：9:00-12:10

平成 15 年

4月8日	薬理学（ 1 ）	飯野正光（薬理　）
4月15日	薬理学（ 2 ）	三品昌美（薬理　）
4月22日	臨床薬物動態学	

伊賀立二
山田安彦（薬剤部）

5月6日	薬のライフサイクルと調査研究
	佐藤嗣道
	久保田潔（薬剤疫学）

5月13日	毒性学（ 1 ）	渡辺知保
-------	----------	------

5月20日	臨床試験について（特に循環器領域）
	山崎　力（クリニカル・ファーマティクス研究ユニット）
	林　同文（薬剤疫学）

5月27日	毒性学（ 2 ）	渡辺知保
-------	----------	------

2004年4月 - 2004年5月

平成 16 年

4月6日	薬理学 (1)	飯野正光 (薬理)
4月13日	薬理学 (2)	三品昌美 (薬理)
4月20日	薬のライフサイクルと調査研究	佐藤嗣道
		久保田 潔 (薬剤疫学)
4月27日	毒性学 (1)	渡辺知保
5月11日	毒性学 (2)	渡辺知保
5月18日	臨床薬物動態学	鈴木洋史 (薬剤部)
5月25日	臨床試験について (特に循環器領域)	山崎 力 (クリニカル・ファーマティクス研究ユニット)
		林 同文 (薬剤疫学)

人類生態学 (必修 - 3年前期) : 2単位)

2003年6月 - 2003年7月

火曜日 : 9:00-12:10

平成 15 年

6月3日	生態系のなかの人間	大塚柳太郎
6月10日	人間の生存と健康 (1)	大塚柳太郎
6月17日	人間の生存と健康 (2)	渡辺知保
6月24日	人口からみた人間	大塚柳太郎
7月1日	環境問題と人間	渡辺知保
7月8日	人類生態学の研究	教官全員
7月15日	人類生態学の研究	教官全員

2004年6月 - 2004年7月

平成 16 年

6月1日	生態系のなかの人間	大塚柳太郎
6月8日	人間の生存と健康 (1)	大塚柳太郎
6月15日	人間の生存と健康 (2)	渡辺知保
6月22日	人口からみた人間	大塚柳太郎
6月29日	環境問題と人間	渡辺知保
7月6日	人類生態学の研究	教官全員
7月13日	人類生態学の研究	教官全員

保健と教育（選択 - 2年後期）：2単位）

2003年12月 - 2004年1月

火曜日：13:00-16:10

平成 15 年

12月9日

人間-環境系の理解とその教育

大塚柳太郎

12月16日

環境の健康影響にかんする理解とその教育

渡辺知保

平成 16 年

1月6日

ヘルストランジションにかんする
理解とその教育

門司和彦

（長崎大学熱帯医学研究所）

1月13日

感染症対策にかんする
国際保健の取り組みと教育

黒岩宙司

（国際保健計画学）

1月20日

ヘルスプロモーションにかんする
国際保健の取り組みと教育

神馬征峰

（国際地域保健学）

1月27日

国際保健教育におけるジェンダー
奥村順子

（国際保健計画学）

環境保健学（選択 - 3年後期）：2単位）

2003年10月 - 2003年12月

金曜日：9:00-12:10

平成 15 年

10月24日

9:00-10:30 人類生態学と環境保健学

大塚柳太郎

10:40-12:10 電磁波の生体影響

上野照剛

（東大・医・生体情報）

10月31日

生態系における物質循環

本郷哲郎

（山梨県環境科学研）

11月7日

環境リスクアセスメント/疾病適応論：
マラリアを題材にして

中澤 港

（山口県立大学）

11月14日

大気とその汚染

新田裕史

		(独立行政法人国立環境研究所)
11月21日	水とその汚染/化学物質と健康1	渡辺知保
11月28日	化学物質と健康2・3	渡辺知保
2004年10月 - 2004年12月 平成 16 年		
10月22日	9:00-10:30 人類生態学と環境保健学	大塚柳太郎
	10:40-12:10 電磁波の生体影響	上野照剛
		(東大・医・生体情報)
10月29日	有機化学物質と健康 (リスク評価の基本を含む)	渡辺知保
11月5日	水とその汚染 (重金属と健康)	渡辺知保
11月12日	大気とその汚染	新田裕史
		(独立行政法人国立環境研究所)
11月19日	生態系における物質循環	本郷哲郎
		(山梨県環境科学研)
11月26日	環境リスクアセスメント/疾病適応論： マラリアを題材にして	中澤 港
		(群馬大学・生態情報学)

人口学 (選択 - 3年後期 : 1単位)

2003年12月 - 2004年2月

月曜日 : 16:20-17:50

平成 15 年

12月8日	人口学総論・人口構造の分析	大塚柳太郎
12月15日	死亡の分析	大塚柳太郎
12月22日	出生の分析	中澤 港
		(山口県立大学)

平成 16 年

1月19日	人類生態学と人口学(1) 移動と健康	梅崎昌裕
		(東京医科歯科大学)
1月26日	人類生態学と人口学(2) 病気と人口の相互作用	中澤 港
		(山口県立大学)

2月2日 人類生態学と人口学(3)
地球レベルと地球レベルでみた人口の変化
大塚柳太郎

2004年12月 - 2005年2月

平成 16 年

12月6日 人口学総論・人口構造の分析
大塚柳太郎
12月13日 死亡の分析
大塚柳太郎
12月20日 出生の分析
中澤 港
(群馬大学・生態情報学)

平成 17 年

1月17日 人類生態学と人口学(1) 移動の分析
梅崎昌裕
(東京医科歯科大学)
1月24日 人類生態学と人口学(2) 再生産の分析
梅崎昌裕
(東京医科歯科大学)
1月31日 人類生態学と人口学(3)
地球レベルと地球レベルでみた人口の変化
大塚柳太郎

環境工学・人間工学(選択 - 4年前期 : 2単位)

2003年4月 - 2003年5月

木曜日: 9:00-12:10

平成 15 年

4月10日 都市の物質代謝 花木啓祐(工・都市工学)
4月17日 都市空間心理工学 浅見泰司
(空間情報科学研究センター)
4月24日 医用工学 : 「人工臓器」
井街 宏
(医・医用生体工学)
5月8日 医用工学 : 「生体計測」
磯山 隆
(医・医用生体工学)
5月15日 安全工学と人間工学の接点
堀野定雄(神奈川大・工)
5月22日 職場における人間工学 酒井一博
(労働科学研究所)
5月29日 アジア諸国における人間工学
堀野定雄(神奈川大・工)

2004年4月 - 2004年5月

平成 16 年

- | | | |
|-------|---------------|----------------|
| 4月8日 | 都市の物質代謝 | 花木 啓祐 |
| | | (工・都市工学) |
| 4月15日 | 都市空間心理工学 | 浅見泰司 |
| | | (空間情報科学研究センター) |
| 4月22日 | 宇宙環境・宇宙医学 | 磯山 隆 |
| | | (医・医用生体工学) |
| 5月6日 | 人工臓器 | 望月修一 |
| | | (医・医用生体工学) |
| 5月13日 | 安全工学と人間工学の接点 | |
| | | 堀野定雄(神奈川大・工) |
| 5月20日 | 職場における人間工学 | 酒井一博(労働科学研) |
| 5月27日 | アジア諸国における人間工学 | |
| | | 堀野定雄(神奈川大・工) |

国際保健学(選択 - 4年前期 : 2単位)

2003年4月 - 2003年5月

木曜日: 13:00-16:10

平成 15 年

- | | | |
|-------|---------------------|-------------|
| 4月10日 | 環境と健康の生態学 | 大塚柳太郎 |
| | | (人類生態学) |
| 4月17日 | 国際母子保健学 | 牛島廣治(発達医科学) |
| 4月24日 | 熱帯感染症の生物学 | 北 潔(生物医化学) |
| 5月8日 | 感染症とヒトの遺伝要因 | |
| | | 徳永勝士(人類遺伝学) |
| 5月15日 | 感染症根絶撲滅の進展と課題 | |
| | | 黒岩宙司 |
| | | (国際保健計画学) |
| 5月22日 | 包括的プライマリ・ヘルスケア | |
| | | 若井 晋 |
| | | (国際地域保健学) |
| 5月29日 | 発展途上国におけるヘルスプロモーション | |
| | | 神馬征峰 |
| | | (国際地域保健学) |

2004年4月 - 2004年5月

平成 16 年

4月8日	包括的プライマリ・ヘルスケア 若井 晋 (国際地域保健学)
4月15日	感染症根絶と国際保健計画 黒岩宙司 (国際保健計画学)
4月22日	発展途上国におけるヘルスプロモーション 神馬征峰 (国際地域保健学)
5月6日	熱帯感染症の生物学 北 潔 (生物医化学)
5月13日	国際母子保健学 牛島廣治 (発達医科学)
5月20日	環境と健康の生態学 大塚柳太郎 (人類生態学)
5月27日	感染症とヒトの遺伝要因 徳永勝士 (人類遺伝学)

実習

2003年6月

環境保健学実習 : (選択 - 4年前期 : 2単位)

2003年10月

保健学実験・検査法実習 : 「環境」 (必修 - 3年前期 : 3単位)

2004年6月

環境保健学実習 : (選択 - 4年前期 : 2単位)

2004年10月

保健学実験・検査法実習 : 「環境」 (必修 - 3年前期 : 3単位)

原書講読

2004年5月 - 2004年7月

夏原和美・山内太郎

テキスト : American Journal of Human Biology

大学院 Lectures and Exercises/Practices for Graduate Students

Human Ecology (人類生態学特論)

May to June, 2003

Introduction to human ecology	R. Ohtsuka
Basic methodologies for data collection	R. Ohtsuka
Human activity and behavior	R. Ohtsuka
Food and nutrition	M. Umezaki
	Department of International Health, Tokyo Medical and Dental University
Environmental Health	C. Watanabe
Microdemography	R. Ohtsuka

May to June, 2004

Introduction and the basic methodologies of data collection in the field	R. Ohtsuka
Human activity and behavior	R. Ohtsuka
Microdemography	R. Ohtsuka
Environmental Health	C. Watanabe
Environmental Health	C. Watanabe
Food & Nutrition	M. Umezaki
	Department of International Health, Tokyo Medical and Dental University

Human Ecology (人類生態学特論)

October to November, 2003

Essentiality and Toxicity of Metals	S. Himeno
	Tokushima Bunri University
Environmental Risks in the Developing Countries	M. Kabuto
	National Institute of Environmental Studies
Health of the Pacific People	T. Inaoka
	Saga University
Obesity in South Pacific: Genetics, Environment and Culture	M. Umezaki
	Tokyo Medical and Dental University

October to November, 2004

Essentiality and Toxicity of Metals	S. Himeno
	Tokushima Bunri University
Methods of assessing human health vulnerability and public health adaptation to climate change	M. Kabuto
	National Institute of Environmental Studies
Health and Nutrition in Asia-Pacific	T. Inaoka
	Saga University
Reproductive Ecology and Human Evolution	M. Umezaki
	Tokyo Medical and Dental University

卒業論文

Graduation Theses

2004 年度
鈴木ひとみ

妊娠期マウスの母仔において餌中セレン濃度が無機砒素毒性に与える影響

水上知広

methimazole の周生期投与による新生仔マウス臓器中微量元素の変動

修士論文

Master Theses

2003 年度
石垣今日子

Arsenic intake from breastmilk and complementary foods: Its quantification among infants in a Bangladeshi community (母乳と離乳食を介したヒ素摂取：バングラデシュ乳児のヒ素摂取の定量化)

田中理恵

The evaluation of stress of foreign students in Japan, using salivary cortisol level

福山祥子

International migration and fertility change of Tongans: A population ecological study in a migrant-sending community

Makhan Maharjan

Arsenic exposure and its health effects in lowland Nepali communities

2004 年度
杉本記久恵

Growth, parasitic infections and subjective symptoms of 9 - 13-year-old children in rural Mali in relation to sanitary conditions

渡邊明仁

The combined effects of maternal exposure to methylmercury and the antithyroid drug, MMI, in the development of offspring in mice

博士論文

Doctoral Dissertations

2003 年度
田中美加

The effects of perinatal exposure to low-dose estrogenic chemicals on behaviors and hypothalamic estrogen receptor- α -positive cells in mice

2004 年度
清水 華

Genetic and immunological characterization for malarial tolerance among Sumbanese in Indonesia

古澤拓郎

Effect of population increase and cash economy on subsistence and dietary intake of Roviana-speaking communities in Solomon Islands

研究業績 Research Activities

原著論文 Original Articles

Ahmad, S., Maharjan, M., Watanabe, C. and Ohtsuka, R. (2004) Arsenicosis in two villages in Terai, lowland Nepal. *Environmental Sciences*, 11(3): 179-188.

Alusta-Tarasenko, O., Ohashi, J., Ataka, Y., Inaoka, T., Ohtsuka, R. and Tokunaga, K. (2003) HLA-DRB1 polymorphism in Balopa islands, Papua New Guinea. *Anthropological Science*, 111: 157-164.

藤巻可弓、荒川千夏子、吉永淳、渡辺知保、芹澤滋子、今井秀樹、白石寛明、水元賀文（2004）尿中代謝産物排泄量から推定した日本人妊婦のビスフェノールA推定量．日本衛生学雑誌、59： 403-408．

Furusawa, T., Pahari, K., Umezaki, M. and Ohtsuka, R. (2004) Impacts of selective logging on New Georgia Island, Solomon Islands, evaluated using very-high-resolution-satellite (IKONOS) data. *Environmental Conservation*, 31(4): 1-7.

蒋宏伟（2005）经济作物和克服贫困的尝试．广西民族学院学报、27(1).(印刷中)

Kimura, M., Tamam, M., Soemantri, A., Nakazawa, M., Ataka, Y., Ohtsuka, R. and Ishida, T. (2003) Distribution of a 27-bp deletion in the band 3 gene in South Pacific islanders. *Journal of Human Genetics*, 48: 642-645.

Liang, J-Y., Umezaki, M. and Ohtsuka, R. (2003) Advantageous and disadvantageous impacts of tourism development on the living of Li ethnic minority villagers in Hainan Island, China. *Journal of Human Ergology*, 32: 1-7.

Maharjan, M., Watanabe, C., Ahmad, S. and Ohtsuka, R. (2005) Arsenic contamination in drinking water and skin manifestations in lowland Nepal: The first community-based survey. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*. (in press)

緑川泰史、山内太郎、石森大知、大塚柳太郎（2003）南太平洋島嶼民の食・栄養の季節性とフードセキュリティーソロモン諸島の伝統的半農半漁村における漁獲高減少時の栄養充足．民族衛生、69: 132-142.

Miyazaki, K., Ushijima, K., Kadono, T., Inaoka, T., Watanabe, C. and Ohtsuka, R. (2003) Negative correlation between urinary selenium and arsenic levels of the residents living in an arsenic-contaminated area in Bangladesh. *Journal of Health Science*, 49: 239-242.

Miyazaki, K., Watanabe, C., Mori, K., Yoshida, K. and Ohtsuka, R. (2005) The effects of gestational arsenic exposure and dietary selenium deficiency on selenium and

selenoenzymes in maternal and fetal tissues in mice. *Toxicology*. (in press)

- Murayama, N., Matsunaga, A., Tangbanluekal, L., Tantawiwat, S. and Ohtsuka, R. (2003) Effects of oral contraceptive use on body mass index and blood pressure among female villagers in North-east Thailand. *Journal of Biosocial Science*, 35: 243-261.
- Ohashi, J., Naka, I., Ohtsuka, R., Inaoka, T., Ataka, Y., Nakazawa, M., Tokunaga, K. and Matsumura, Y. (2004) Molecular polymorphism of ABO blood group gene in Austronesian and non-Austronesian populations in Oceania. *Tissue Antigens*, 63: 355-361.
- Ohtsuka, R., Sudo, N., Sekiyama, M., Watanabe, C., Inaoka, T. and Kadono, T. (2004) Gender difference in daily time and space use among Bangladeshi villagers under arsenic hazard: Application of the compact spot-check method. *Journal of Biosocial Science*, 36: 317-332.
- Perikesit, Salim, H., Triharyanto, E., Gunawan, B., Sunardi, Abdoellah, O.S. and Ohtsuka, R. (2005) Multi-source water pollution in the Upper Citarum watershed, with special reference to its spatiotemporal variation. *Environmental Sciences*, 12. (in press)
- Sekiyama, M., Matsu'ura, S. and Ohtsuka, R. (2003) Monthly growth and milk intake of Japanese infants exclusively breast-fed up to three months old. *Anthropological Science*, 111: 373-381.
- Sekiyama, M., and Ohtsuka, R. (2004) Significant effects of birth-related biological factors on pre-adolescent nutritional status among Sundanese in West Java, Indonesia. *Journal of Biosocial Science* (in press, corrected proof, available online 7 June 2004)
- Sudo, N., Sekiyama, M., Watanabe, C., Bokul, A.T.M.M.H. and Ohtsuka, R. (2004) Gender differences in food and energy intake among adult villagers in northwestern Bangladesh: A food frequency survey. *International Journal of Food Sciences and Nutrition*, 55: 499-509.
- Sueyoshi, S. and Ohtsuka, R. (2003) Effects of polygyny and consanguinity on high fertility in the rural Arab population in south Jordan. *Journal of Biosocial Science*, 35: 513-526.
- Sueyoshi, S. and Ohtsuka, R. (2004) Ineffective contraceptive use and its causes in a natural fertility population in southern Jordan. *Human Biology*, 76: 711-722.
- Tanaka, M., Ohtani-Kaneko, R., Yokosuka, M. and Watanabe, C. (2004) Low-dose perinatal diethylstilbestrol exposure affected behaviors and hypothalamic estrogen receptor- α -positive cells in the mouse. *Neurotoxicology and Teratology*, 26: 261-269.

- Umezaki, M. and Ohtsuka, R. (2003) Adaptive strategies of Highlands-origin migrant settlers in Port Moresby, Papua New Guinea. *Human Ecology*, 31: 3-25.
- Watanabe, C., Inaoka, T., Matsui, T., Ishigaki, K., Murayama, N. and Ohtsuka, R. (2003) Effects of arsenic on younger generations. *Journal of Environmental Science and Health*, 38A: 129-139.
- Watanabe, C., Kawata A., Sudo, N., Sekiyama, M., Inaoka, T., Bae, M. and Ohtsuka, R. (2004) Water intake in an Asian population living in arsenic-contaminated area. *Toxicology and Applied Pharmacology*, 198: 272-282.
- Yamauchi, T., Abe, T., Midorikawa, T. and Kondo, M. (2004) Body composition and resting metabolic rate of Japanese college Sumo wrestlers and non-athlete students: Are Sumo wrestlers obese? *Anthropological Science*, 112, 179-185.
- Yamauchi, T. and Umezaki, M. (2005) Rural-urban migration and changing physical activity among Papua New Guinea Highlanders from the perspective of energy expenditure and time use. *Environmental Sciences*, 12. (in press)
- Yoshida, M., Watanabe, C., Horie, K., Satoh, M., Sawada, M. and Shimada, A. (2005) Neurobehavioral changes in metallothionein-null mice prenatally exposed to mercury vapor. *Toxicology Letters*. (in press)
- Yoshida, M., Watanabe, C., Satoh, M., Yasutake, A., Sawada, M., Ohtsuka, Y., Akama, Y. and Tohyama, C. (2004) Susceptibility of metallothionein-null mice to the behavioral alterations caused by exposure to mercury vapor at human-relevant concentration. *Toxicological Science*, 80: 69-73.
- Yoshinaga, J., Yoneda, M., Yoshinaga, M. and Matsushita, T. (2003) Children of Samurai classes in Edo Era might suffer from lead poisoning. *Environmental Sciences*, 10: 63-69.
- Yoshinaga, M. (2005) Gender difference in the perception of environmental health risk among university students: A preliminary research. *Transactions of the Kokushikan University Faculty of Engineering*, 38. (in press)
- Zhou, H., Ohtsuka, R., He, Y., Yuan, L., Yamauchi, T. and Sleight, A.C. (2005) Impacts of parasite infections and dietary intake on child growth in the schistosomiasis-endemic Dongting lake region, China. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*. (in press)
- Zhou, H., He, Y. and Ohtsuka, R. (2005) Sex difference in malnourished status of Chinese children due to schistosomiasis infection and inadequate dietary intake. *Environmental Sciences*, 12. (in press)

単行本

Books and Contributions to Books

Agustina, R., Kusharto, C.M., Martianto, D. and Ohtsuka, R. (2003) Growth pattern and nutritive values of common carp cultured with waste of bean sprout in Sukajadi village, Bogor district. In Hayashi, Y., Manuwoto, S. and Hartono, S. (eds.), *Sustainable Agriculture in Rural Indonesia*. Yogyakarta: Gadjra Mada University Press, pp. 421-427.

Ataka, Y. and Ohtsuka, R. (2005) Migration and fertility of a small island population in Manus: A long-term analysis of its sedentes and migrants. In Ulijaszek, S.J. (ed.) *Fertility and Reproduction in New Guinea*. Oxford: Berg. (in press)

古澤拓郎 (2004) 「民俗知識に基づく人間・植物・動物の関係」大塚柳太郎 (編) 『ソロモン諸島：最後の熱帯林』、東京大学出版会、55-81頁。

原洋之介、井上真、篠原徹、松井健、大塚柳太郎 (2004) 「座談—新たな視点の構築に向けて」大塚柳太郎、篠原徹、松井健 (編) 『島の生活世界と開発 4：生活世界からみる新たな人間—環境系』、東京大学出版会、161-197頁。

蔣宏偉 (2004) 「換金作物と貧困克服の試み」篠原徹 (編) 『島の生活世界と開発 2：中国・海南島—焼畑農耕の終焉』、東京大学出版会、139-164頁。

太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、真柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎 (編) (2004) 『水の事典』、朝倉書店。

Ohtsuka, R. (2004) Environmental preservation and community welfare under rural development projects: A comparative ethnoecological study in Asia and Oceania. In Sasaki, T. (ed.), *Nature and Human Communities*. Tokyo: Springer-Verlag, pp. 45-65.

大塚柳太郎 (2003) 「医学的生態学」巖佐庸、松本忠夫、菊沢喜八郎 (編) 『生態学事典』、共立出版、11頁。

大塚柳太郎 (2003) 「食料生産の形態」巖佐庸、松本忠夫、菊沢喜八郎 (編) 『生態学事典』、共立出版、268頁。

大塚柳太郎 (2003) 「生態人類学」巖佐庸、松本忠夫、菊沢喜八郎 (編) 『生態学事典』、共立出版、325-326頁。

大塚柳太郎 (編著) (2004) 『島の生活世界と開発 1：ソロモン諸島—最後の熱帯林』、東京大学出版会。

大塚柳太郎 (2004) 「熱帯林の中の生活世界—ソロモン諸島のエスノヒストリー」大塚柳太郎 (編) 『島の生活世界と開発 1：ソロモン諸島—最後の熱帯林』、

東京大学出版会、1-9頁．

大塚柳太郎（2004）「持続的商業伐採が引き起こす社会変容」大塚柳太郎（編）『島の生活世界と開発 1：ソロモン諸島—最後の熱帯林』、東京大学出版会、147-165頁．

大塚柳太郎（2004）「環境的正義とコンセンサス形成」大塚柳太郎、篠原徹、松井健（編）『島の生活世界と開発 4：生活世界からみる新たな人間—環境系』、東京大学出版会、9-37頁．

大塚柳太郎（2004）「人体が必要とする水」太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、真柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎（編）『水の事典』、朝倉書店、485-488頁．

大塚柳太郎（2004）「水と感染症」太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、真柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎（編）『水の事典』、朝倉書店、504-513頁．

大塚柳太郎（2004）「健康と病気」太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、真柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎（編）『水の事典』、朝倉書店、503-504頁．

大塚柳太郎（2004）『地球に生きる人間—その歩みと現在』、小峰書店．

大塚柳太郎（2005）「生活史からみるニューギニア」鶴ヶ島市教育委員会（編）『知流を変える—オセアニア美術からみえるもの』、里文出版．（印刷中）

大塚柳太郎（2005）「人類の進化と多様化—そのダイナミズムと気候変化の影響」野上道男（編）『気候変化の原因とその影響』、古今書院．（印刷中）

Ohtsuka, R. (2005) Biocultural adaptation and population connectedness in the Asia-Pacific region. In Ohtsuka, R. and Ulijaszek, S.J. (eds.) *Health Change in the Asia-Pacific-Region*. Cambridge: Cambridge University Press. (in press)

大塚柳太郎、篠原徹、松井健（編著）（2004）『島の生活世界と開発 4：生活世界からみる新たな人間—環境系』、東京大学出版会．

大塚柳太郎、篠原徹、松井健（2004）「開発をめぐる地域社会のコンセプト」大塚柳太郎、篠原徹、松井健（編）『島の生活世界と開発 4：生活世界からみる新たな人間—環境系』、東京大学出版会、1-6頁．

Ohtsuka, R. and Ulijaszek, S.J. (2005) *Health Change in the Asia-Pacific Region*. Cambridge University Press, Cambridge. (in press)

Sekiyama, M. and Ohtsuka, R. (2003) Human ecological study for sustainable development in a rural community of West Java, with special reference to microdemography and child nutrition. In Hayashi, Y., Manuwoto, S. and Hartono, S. (eds.), *Sustainable Agriculture in Rural Indonesia*. Yogyakarta: Gadjara University Press, pp. 411-420.

渡辺知保 (2004) 「水の機能」太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、眞柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎 (編) 『水の事典』、朝倉書店、488-501 頁。

渡辺知保 (2004) 「水圧による疾病」太田猛彦、住明正、池淵周一、田淵俊雄、眞柄泰基、松尾友矩、大塚柳太郎 (編) 『水の事典』、朝倉書店、532-537 頁。

山内太郎 (2004) 「ライフスタイルの変容と栄養・健康」大塚柳太郎 (編) 『島の生活社会と開発 1 : ソロモン諸島—最後の熱帯林』、東京大学出版会、13-34 頁。

山内太郎 (2004) 「基本的ヒューマンニーズの充足から QOL へ」大塚柳太郎、篠原徹、松井健 (編) 『島の生活社会と開発 4 : 新しい人間—環境系の創造』、東京大学出版会、87-111 頁。

Yamauchi, T. (2005) Modernization, nutritional adaptability, and health in Papua New Guinean Highlanders and Solomon Islanders. In Ohtsuka, R. and Ulijaszek, S.J. (eds.), *Health Change in the Asia-Pacific Region*. Cambridge: Cambridge University Press. (in press)

総説・資料・他 Reviews and Other Reports

Furusawa, T. (2003) Folkecology and eco-commons management . アジア・太平洋の環境・開発・文化、6: 23-24.

古澤拓郎 (2003) ソロモン諸島ロヴィアナラグーン住民が認識する生態系 . 生態人類学会ニュースレター、9: 3-4.

古澤拓郎 (2004) ソロモン諸島ロヴィアナの開発生態学 : コモンズと移動耕作・現金獲得活動の分析から . 日本オセアニア学会 NEWSLETTER、80 : 12-22.

古澤拓郎、大塚柳太郎 (2004) 民間医療と近代医療の役割 : ソロモン諸島ロヴィアナ住民の病への対処行動 . 民族衛生、70(suppl.): 36-37.

大塚柳太郎 (2004) 南アジア農村での行動調査 . 民族衛生、70: 1-2.

大塚柳太郎 (2004) 書評・印東道子著『オセアニア - 暮らしの考古学』．民博通信、103: 24.

大塚柳太郎 (2005) 南アジアにおける地下水の砒素汚染と持続的な水供給．環境科学、18(2)：69-70.

関山牧子 (2003) 健康からみた西ジャワ農村．科学、73: 806-807.

関山牧子 (2003) 新刊短評：印東道子『オセアニア - 暮らしの考古学』．人口学研究、32: 71.

山内太郎 (2004) 伝統社会における食の変容と栄養－南太平洋ソロモン諸島における伝統的食生活の栄養学的評価－．三島海雲記念財団研究報告書、41：20-23.

Yamauchi, T. (2003) Impact of development and cash economy on nutrition and health. *Environment, Development and Culture in Asia-Pacific Societies*, 6: 15-16.

Yamauchi, T. (2003) Time-space use and energetic adaptation among Papua New Guinea Highlanders: a comparative study between subsistence and cash economy. *Anthropological Science*, 111(4): 406.

山内太郎、安部孝 (2004) 体格指標に基づく肥満評価の検討－大学相撲選手と一般大学生の比較－．健康医科学、19: 118-125.

山内太郎、萩原潤 (2005) 高齢者の理想的な身体活動量とフィットネス－健康長寿漁村の事例から考える．デサントスポーツ科学、26．（印刷中）

Yamauchi, T., Ishimori, D. and Ohtsuka, R. (2004) Growth and nutritional status of adolescents in the Solomon Islands: Effects of genetic and socio-economic factors. *In X International Congress of Auxology Abstracts, Human Growth in Sickness and in Health*. Kleine Schnel, Firenze, p. 50.

山内太郎、大塚柳太郎 (2004) 東アジア都市部の子どもの体組成と身体活動量．日本生理人類学会誌、9(1): 22-23.

Yamauchi, T. and Ohtsuka, R. (2003) Gender differences in rural-urban migrants and changing physical activity among Papua New Guinea Highlanders. *Finnish Sports and Exercise Medicine*. E-Magazine, (<http://ffp.uku.fi/sll/index.html>).

学会発表 Presentations in Scientific Meetings

荒川千夏子、田久保恩、吉永淳、田中美加、渡辺知保、今井秀樹、白石寛明：
尿分析によるビスフェノール A 摂取量調査 第 64 回分析化学討論会 2003、
高知。

裴文珠：バングラデシュにおける無機ヒ素曝露の評価 韓国産業衛生学会 2005、
韓国。

藤巻可弓、荒川千夏子、吉永淳、渡辺知保、芹澤滋子、今井秀樹、白石寛明、
水本賀文：日本人妊婦におけるビスフェノール A 摂取量調査 第 5 回環境
ホルモン学会 2003、宮城。

福山祥子：トンガ王国コロバイ村からの海外移出 - この 20 年間に村でおこっ
た変化 日本オセアニア学会 2003 年度関東地区例会、2004、東京。

福山祥子：トンガ人の海外移住と出生力変化 日本オセアニア学会第 21 回研究
大会・総会、2004、佐賀。

福山祥子、稲岡司、松村康弘、山内太郎、夏原和美、大橋順、木村亮介、大塚
柳太郎：トンガの子どものオーバーウェイト 第 69 回日本民族衛生学会総
会 2004、東京。

福山祥子：トンガ人の日中の活動 - コロバイ村でのタイムアロケーション調査
より 第 10 回生態人類学研究大会 2005、伊達。

古澤拓郎：ソロモン諸島ロヴィアナラグーン住民が認識する生態系 第 8 回生
態人類学会総会 2003、静岡。

古澤拓郎、大塚柳太郎：民間医療と近代医療の役割 - ソロモン諸島ロヴィアナ
住民の病への対処行動 - 第 69 回日本民族衛生学会総会 2004、東京。

稲井啓之、佐藤弘明、山内太郎、川村協平：狩猟採集民バカ・ピグミーの日常
活動：とくに森のキャンプにおけるタイム・アロケーションについて 第
69 回日本民族衛生学会 2004、東京。

石垣今日子、渡辺知保、大塚柳太郎：ヒ素汚染地域における小児のヒ素暴露の
実態と成長、発達への影響 第 11 回ヒ素シンポジウム 2003、札幌。

石井勝、市丸直人、山内太郎：子どもの隠れ肥満指数．第 30 回人類動態学会西日本地方会．2004、沖縄．

石飛裕美、渡辺知保：周産期の低用量カドミウム曝露がマウス出生仔に及ぼす影響．第 75 回日本衛生学会総会．2005、新潟．

蒋宏偉：生業の市場経済化により農村開発：海南島・リー族の村落調査より．第九回日本生態人類学会研究大会．2004、滋賀．

川村協平、佐藤弘明、山内太郎、中村織江：アフリカ熱帯雨林に住む狩猟採集民バカ ピグミーの血圧．第 69 回日本民族衛生学会．2004、東京．

Maharajan, M., Ahmed, S.A., 渡辺知保、大塚柳太郎：ネパール低地における地下水ヒ素汚染の健康影響：性差および栄養状態による修飾．日本微量元素学会．2002、東京．

永野恵、稲岡司、姜品梅、石垣今日子、A.T.M. Mozammel Haque Bokul、大塚柳太郎：バングラデシュにおける井戸水の砒素汚染緩和対策．第 68 回日本民族衛生学会総会．2003、熊本．

中崎美峰子、新村哲夫、荒谷哲雄、関山牧子、渡辺知保：インドネシア小児における有機リン系農薬の尿中代謝物検出状況．第 75 回日本衛生学会総会．2005、新潟．

中澤港、大塚柳太郎：ソロモン諸島パラダイス村の人口分析．第 55 回日本人口学会．2003、岐阜．

夏原和美、福山祥子、松村康弘、稲岡司、山内太郎、木村亮介、大橋順、大塚柳太郎：トンガ王国首都近郊の村での食生活と糖尿病・肥満．第 21 回日本オセアニア学会．2004、佐賀．

夏原和美、大塚柳太郎：生活習慣と形態測定値からみた都市の子どもの健康．第 51 回日本生理人類学会、シンポジウム 1: 東アジア地域の都市化が子供の健康に及ぼす影響．2004、札幌．

Ohtani-Kaneko, R., Iwafuchi, M., Yokosuka, M., Hirata, K., Watanabe, C.: Estradiol-17beta affects the localization of synapsin-I through non-genomic mechanism. 16th International Congress of the IFAA. 2004, Kyoto.

大谷 - 金子律子、岩淵真木子、横須賀誠、渡辺知保：エストロゲンおよびエストロゲン様物質が視床下部ニューロンの発達に影響する際の2つの細胞内経路．文部科学省特定領域研究平成15年度研究報告会．2004、京都．

大谷 - 金子律子、村岡大輔、横須賀誠、山下佳代子、黒田洋一郎、渡辺知保：ラット視床下部初代培養細胞での synapsin I 発現に MAP kinase が関与する．第26回日本神経科学大会．2003、名古屋．

大塚柳太郎：パプアニューギニアにすむギデラの生産活動にみる社会性．シンポジウム「産業保健のターニングポイント」．2003、東京．

大塚柳太郎：国際保健における行動研究の意義 第68回日本民族衛生学会総会．2003、熊本．

大塚柳太郎：商業伐採が進行するソロモン諸島における環境保全と地域社会の開発．国際シンポジウム「アジア地域の環境保全：未来開拓研究推進事業の成果と提言」．2003、東京．

Ohtsuka, R.: Environmental preservation and welfare of local communities in Solomon Islands under development of commercial logging. International Symposium, "Environmental Conservation in the Asian Region: Its Results and Perspective in a 'Research for the Future Program'", 2003, Tokyo.

Ohtsuka, R.: Gender differences in time and space use among populations in Bangladesh and Papua New Guinea: A biocultural discussion. IAHB Annual Symposium, "Human Biology and Humanity." 2003, Rome.

大塚柳太郎：地域社会からみた自然資源としての熱帯林の有効利用．公開シンポジウム「アジア地域の環境保全における研究成果の位置づけと今後の展望」．2004、東京．

大塚柳太郎：南アジアにおける砒素汚染 - 人類生態学からのアプローチ．第69回日本民族衛生学会総会．2004、東京．

Ohtsuka, R., Karim, E. and Hossain, Md.Z.: Community views on arsenic mitigation in Bangladesh. Dissemination Seminar of Action Research on Arsenic. 2003, Dhaka.

Pahari, K. and Ohtsuka, R.: A Study on the Habitat of Gidra Community in Papua New Guinea with Satellite Remote Sensing. Proceedings of 23rd Asian Conference on Remote Sensing. 2003, Busan, Korea.

Rumaida, A., Kusharto, C.M., Martianto, D. and Ohtsuka, R.: Growth and nutritive values of common carp cultured with waste of bean sprout in Sukajadi village, Bogor district. The 2nd JSPS-DGHE Seminar on "Toward Harmonization between

Development and Environmental Conservation in Biological Production”. 2003, Tokyo.

佐藤雅彦、本田晶子、吉田稔、渡辺知保：周生期メチル水銀およびカドミウム投与マウス脳における遺伝子発現：マイクロアレイおよび real time RT-PCR による検討．第 75 回日本衛生学会総会．2005、新潟．

関山牧子、大塚柳太郎：インドネシア西ジャワ農村の出生に関する研究．日本人口学会第 55 回大会．2003、岐阜．

関山牧子、田中美加、新村哲夫、中崎峰子、大塚柳太郎、渡辺知保：インドネシア西ジャワ農村における農薬汚染と学童の健康に関する人類生態学的検討．第 75 回日本衛生学会総会．2005、新潟．

Shimizu, H., Ishida, T. and Ohtsuka, R.: Asymptomatic malaria among Sumbanese in Indonesia. JSPS Seminar, Strategies for controlling emerging and re-emerging infectious diseases in Southeast Asia. 2005, Tokyo.

Sudo, N., Sekiyama M., Watanabe C., and Ohtsuka R.: Gender difference in food and energy intakes in Bangladeshi villages under arsenic hazard. 5th International Conference on Dietary Assessment Methods, 2003, Chiang Rai.

高島良、山内太郎、村田恵、萩原潤：田代島居住者の QOL とその要因に関する考察．第 69 回日本民族衛生学会．2004、東京．

竹内昌平：フィリピン・ミンドロ島における日本住血吸虫症対策の推計：エージェントベースのシミュレーションモデルによる分析．熱帯疫学における観察データと複数数理モデルの対峙．2004、長崎．

田中美加、大谷 - 金子律子、横須賀誠、渡辺知保：周生期内分泌かく乱物質曝露がマウスの視床下部と扁桃体領域における ERK/MAP kinase およびエストロゲン受容体に及ぼす影響．第 6 回環境ホルモン学会．2003、仙台．

田中美加、大谷 - 金子律子、横須賀誠、夏原和美、渡辺知保：周生期内分泌かく乱物質がマウスの視床下部と扁桃体領域の ERK/MAP kinase およびエストロゲン受容体に及ぼす影響．文部科学省特定領域研究平成 15 年度研究報告会．2004、京都．

渡辺知保、石飛裕美、渡邊明仁、吉田稔、佐藤雅彦：周生期カドミウムあるいはメチル水銀曝露がメタロチオネイン I, II 遺伝子欠損マウスの行動に及ぼす影響．第 75 回日本衛生学会総会．2005、新潟．

Watanabe, C., Watanabe, A., Satoh, M., Yoshida, K., Mori, K., Ishitobi, H., Honda, A.

Behavioral alterations of C57BL and metallothionein knock-out mice perinatally exposed to low level of cadmium. Society of Toxicology 44th Annual Meeting. 2005, New Orleans (USA).

山内太郎：伝統社会と都市社会における時空間利用とエネルギー適応—パプアニューギニア高地民の事例．第 57 回日本人類学会．2003、伊達．

Yamauchi, T. and Ohtsuka, R.: Gender differences in rural-urban migrants and changing physical activity among Papua New Guinea Highlanders. The 17th International Puijo Symposium. 2003, Kuopio (Finland).

山内太郎、河辺俊雄、大塚柳太郎：遺伝・環境要因と思春期の成長・栄養状態 — 南太平洋ソロモン諸島の 3 集団の比較 .第 15 回日本成長学会 .2004、仙台．

山内太郎、大塚柳太郎：東アジア都市部の子どもの体組成と身体活動量．第 51 回日本生理人類学会, シンポジウム 1：東アジア地域の都市化が子供の健康に及ぼす影響．2004、札幌．

Yamauchi, T., Ishimori, D. and Ohtsuka, R.: Growth and nutritional status of adolescents in the Solomon Islands: effects of genetic and socioeconomic factors. The X International Congress of Auxology. 2004, Florence (Italy).

山内太郎：韓国・中国の都市に住む小・中学生の体格と身体活動量—地域・年齢・性による比較—福岡教育大学附属体育研究センター 2004 年度国際シンポジウム「青少年の身体発育と体育・スポーツ活動—東アジアの現状と展望—」．2005、宗像（福岡）．

Yoshida, M., Watanabe, C., Horie, K., Satoh, M., Sawada, M., Shimada, A.: Neurobehavioral changes in metallothionein-null mice prenatally exposed to mercury vapor. Society of Toxicology 44th Annual Meeting. 2005, New Orleans (USA).

国際的な活動

International Activities

国際研究プロジェクト

International Research Projects

Title of Project: Duration	Main Scholars of our Department	Counterparts: Main Scholars and/or Institutions
Arsenic Hazard and Sustainable Water Supply System in Asian Environment: 1998-	R. Ohtsuka, C. Watanabe, M. Maharjan, K. Miyazaki, M. Sekiyama, M.J. Bae, K. Ishigaki, A. Kawata	MIT (USA), ETH (Switzerland), NIPSOM (Bangladesh), ENPHO (Nepal)
Application of Remote Sensing to Human Ecological Studies for Land Use/Cover: 2002-	R. Ohtsuka, K. Pahari, T. Furusawa, H.W. Jiang	Institute of Nationality Studies of Hainan Province (China), National Museum (Solomon Islands)
Genetic-ecological Studies for High Risk of Lifestyle-related Diseases in Oceanian Populations: 2002-2005	R. Ohtsuka, T. Yamauchi, K. Natsuhara, M. Sekiyama, H. Shimizu, T. Furusawa, S. Fukuyama	Department of Health (Kingdom of Tonga), Faculty of Medicine, Diponegoro University (Indonesia), Department of Health (Solomon Islands)
Mitigation for Yellow Dust Hazard in East Asia: 2002-	R. Ohtsuka, S. Takeuchi	Q. Guo (Peking University, China), Y.S. Kim and S.C. Hong (Hanyang University, Korea)
Nutritional Ecological Survey in Rural Indonesia: 2000-	R. Ohtsuka, N.Y. Sa'diyyah, M. Sekiyama, K. Roosita	Department of Community Nutrition and Family Resources (Bogor Agricultural University)
Shistosomiasis Infection in South China: 2000-	R. Ohtsuka, H. Zhou S. Takeuchi	Hunan Institute of Parasitic Diseases
Physical Capacity and Health for East Asian Schoolchildren: 2003-	R. Ohtsuka, K. Natsuhara, T. Yamauchi, H. Zhou	Gangwon National University (Korea), Liaoning Normal University (China)

Health Development Study in Lao PDR. 2003-	T. Yamauchi, K. Natsuhara, S. Takeuchi	National Institute of Public Health (Lao PDR)
An Ecological- anthropological Study of the Baka Hunter-gatherers in Cameroon. 2003-	T. Yamauchi	Ministry of Scientific Research of Cameroon, University of Yaounde (Cameroon)
Environmental Health Survey for Children in Asia. 2003-	C. Watanabe, R. Ohtsuka, M. Sekiyama, M. Tanaka, L. Dewanti	Institute of Ecology, Padjadjaran University (Indonesia)

第 17 回 (2003 年 5 月 31 日)

竹内昌平 (人類生態)

フィリピン・ミンドロ島における日本住血吸虫症対策の推計: エージェントベースのシミュレーションモデルによる分析

裴 文珠 (人類生態)

バングラデシュにおける地下水由来の無機ヒ素曝露の評価

中澤 港 (山口県立大学)

ソロモン諸島パラダイス村における高出生力

翠川 裕 (鈴鹿医療科学大学)

ラオス - メコンの環境は今

第 18 回 (2004 年 5 月 15 日)

福山祥子 (人類生態)

トンガ、コロバイ村における microdemographic study
- 移動と出生率の関係 -

古澤拓郎 (人類生態)

劣化した熱帯雨林における土地利用と資源利用: ソロモン諸島ロヴィアナの事例

大橋 順 (人類遺伝学教室)

自然淘汰がヒトゲノム多様性に与える影響: HbE 変異とマラリア抵抗性

米元純三 (独立行政法人国立環境研究所)

母乳細胞における CYP1A1 の発現

教室員一覽 Staff, Students and Visiting Researchers

名誉教授 鈴木繼美
教授 大塚柳太郎
助教授 渡辺知保

非常勤講師

坂井建雄	順天堂大学医学部
佐々木誠一	茨城県立医療大学
新田裕史	独立行政法人国立環境研究所
姫野誠一郎	徳島文理大学薬学部
本郷哲郎	山梨県環境科学研究所
稲岡 司	-2002.3 熊本大学医学部、2002.4- 佐賀大学農学部
兜 眞徳	独立行政法人国立環境研究所
中澤 港	-2004.3 山口県立大学看護学部、 2004.4- 群馬大学大学院医学系研究科
梅崎昌裕	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

助手

山内太郎	2002.4-
夏原和美	2002.4-2005.3

技術官

早弓和子	-2004.3、2004.4-2005.3 事務補佐員
------	-----------------------------

学術研究支援員

Krishna Pahari	2003.4-2003.6
青柳珠海	2004.5-

大学院生

田中美加	2000.4-2004.3	博士課程
関山牧子	2002.4-2004.9	博士課程
	2004.10-	東京大学東洋文化研究所助手
古澤拓郎	2000.4-2005.3	博士課程
清水 華	2002.4-2005.3	博士課程
石飛裕美	2003.4-2003.7	(所属：発達医科学教室)
	2003.8-	博士課程
蒋 宏偉	2003.4-	博士課程
周 歡	2003.4-	博士課程
竹内昌平	2003.4-	博士課程
福山祥子	2002.4-2004.3	修士課程
	2004.4-	博士課程
石垣今日子	2002.4-2004.3	修士課程

田中理恵	2002.4-2004.3	修士課程
Makhan Maharjan	2002.4-2004.3	修士課程
杉本記久恵	2003.4-2005.3	修士課程
渡邊明仁	2003.4-2005.3	修士課程
Linda Dewanti	2004.4-	修士課程

学部研究生

李 京銀	2002.10-2003.9
------	----------------

短期研究生

新城梨奈子	2004.4-2004.9
-------	---------------

客員研究員

裴 文珠	2003.4-2003.8
石垣今日子	2004.4-2005.3
A.B.M. Rafiqul Islam	2003.12-
宮崎賀織	2003.4-2004.3
田中美加	2004.4-2005.3
吉永真理	1997.10-2004.11

招へい研究者

三浦郷子（和光大学）	2003.4-2004.3
NinoYayah Sa'diyyah (Bogor Agricultural University, Indonesia)	2003.12-2004.2 2004.9-2004.11
Katrin Roosita (Bogor Agricultural University, Indonesia)	2004.2-2004.3 2005.1-2005.2
河辺俊雄（高崎経済大学）	2004.4-2004.9
Nicholas George Norgan (Loughborough University, UK)	2004.4-2004.5